

犬山市文化財保存活用地域計画の構成について

地域計画の記載事項（策定指針より）

【必須事項】

- ・市町村の概要
- ・市町村の文化財の概要
- ・市町村の歴史文化の特徴
- ・文化財の保存・活用に関する課題
- ・文化財の保存・活用に関する方針
- ・文化財の保存・活用に関する措置
- ・文化財を把握するための調査に関する事項

・計画期間

- ・文化財の保存・活用の推進体制等

【任意事項】

- ・関連文化財群に関する事項
- ・文化財保存活用区域に関する事項
- ・地域計画の認定を受けた場合の事務処理特例の適用を希望する事務の内容
- ・その他の事項

犬山市文化財保存活用計画の構成（案）

序章

1. 計画作成の背景と目的
2. 地域計画の位置付け
3. 計画期間
4. 用語の定義

第1章 犬山市の概要

1. 自然的・地理的環境
2. 社会的状況
3. 歴史的背景

第2章 犬山市の文化財の概要と特徴

1. 指定等文化財の概要と特徴
2. 未指定文化財の概要と特徴

第3章 犬山市の歴史文化の特徴

第4章 犬山市の文化財の保存と活用に関する将来像・基本的な方向性

第5章 文化財の把握調査

1. 既存の文化財の把握調査の概要
2. 文化財の把握調査の課題
3. 文化財の把握調査実施の方針・措置
4. 文化財の把握調査実施の体制

第6章 文化財の保存と活用に関する方針と措置

1. 文化財の保存と活用に関する課題
2. 文化財の保存と活用に関する方針
3. 文化財の保存と活用に関する措置

第7章 文化財の一体的・総合的な保存と活用

1. 関連文化財群
 - 1-1 関連文化財群の目的
 - 1-2 関連文化財群の設定の考え方
 - 1-3 関連文化財群及びその保存活用計画（課題・方針・措置）
2. 文化財保存活用区域
 - 2-1 文化財保存活用区域の目的
 - 2-2 文化財保存活用区域の設定の考え方
 - 2-3 文化財保存活用区域及びその保存活用計画（課題・方針・措置）

第8章 文化財の防災・防犯

1. 文化財の防災・防犯に関する課題
2. 文化財の防災・防犯に関する方針
3. 文化財の防災・防犯に関する措置
4. 文化財の防災・防犯の推進体制と体制整備の方針

第9章 文化財の保存・活用の推進体制

1. 文化財の保存・活用の推進体制
2. 体制整備の課題・方針

別添資料 文化財リスト

犬山市文化財保存活用地域計画 課題の整理と方針の検討（素案）

課題	方針
課題1 調査研究・共有に関する課題	方針1 歴史文化資源を理解する <ul style="list-style-type: none">■ 市内各所に残されている、未だ発掘や価値付けがされていない歴史文化資源について、その分布状況が十分に把握できていない。分野（文化財種別）ごとの把握状況に差がある。■ 市職員のみでの対応は困難であり、専門家に加えて、地域住民や事業者との協力体制構築により、計画的かつ継続的に調査を実施する体制づくりが必要である。■ 既往調査成果を電子化し、情報を体系的に管理して計画性を持った調査研究の展開・共有を図る必要がある。■ 歴史文化資源に関する価値や魅力を伝えられておらず、地域住民との間で、地域の歴史文化資源の価値の共有が十分に図られていない。■ 文化財の保存・活用等に関する取組が十分に周知されていない。
課題2 保存に関する課題	方針2 歴史文化資源を守る <ul style="list-style-type: none">■ 定期的な保存修理を実施し、価値を維持する必要がある。■ 資料の収蔵スペースが不足している。■ 歴史文化資源及びその関連資料、記録映像等のデジタルアーカイブ化が進んでいない。■ 近年増加している浸水被害や火災等の災害に対する備えや啓発が十分ではない。■ 後継者不足や維持管理の困難さが未指定文化財の減少に繋がる恐れがある。
課題3 繼承に関する課題	方針3 歴史文化資源を伝承する <ul style="list-style-type: none">■ 少子高齢化の進行や定年延長により、活動の担い手が不足している。■ 地域及び各種団体間の連携及び交流が図られていない。■ 新型コロナウイルス感染症の流行によって行事が行われなくなつたことで、行事の段取りや作法が忘れられる懸念がある。また、行事を行わないことが常態化することで、再開を望まない声が出てくる可能性がある。■ 団体が歴史文化資源の保存・活用や人材育成を行うための資金が不足している。■ 庁内関係部署（観光、環境、都市計画、消防、市民活動等）との連携を強化する必要がある。
課題4 活用に関する課題	方針4 歴史文化資源を活かす <ul style="list-style-type: none">■ 市民が歴史文化資源と日常的に接する機会が少ない。■ 歴史文化資源の案内板、解説版等の設置が十分でなく、デザインも統一されていない。■ パンフレット、解説版等の多言語化・ユニバーサルデザイン化をさらに推進する必要がある。■ 活用の取組が特定の地域や歴史文化資源に留まっており、地域づくりに効果的に活かされていない。■ 歴史文化資源の観光資源としての活用は古くからなされているが、資源を相互につないでその価値を高め、わかりやすいストーリーで来訪者に伝えるまでには至っていない。

令和3年度歴史まちづくり関連事業の進捗について

1. 中部歴史まちづくりサミット（中止）

概要：年に一度中部地区各都市持ち回りで開催しているもので、歴史的風致維持向上計画が国の認定を受けた16都市の首長が一堂に会して歴史まちづくりに関わる様々な課題について情報交換をしている。令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止。

2. 犬山市歴史まちづくり賞事業

概要：景観や風情の向上に貢献している伝統的な意匠などに優れた建造物を表彰することで、歴史的建造物を将来にわたって守り続け、そして城下町の伝統的な景観を次世代へ継承していくために、平成29年度より実施している。

令和3年度は住宅部門で2件、その他部門で3件を表彰予定。

3. 犬山市歴史的風致維持向上計画（第2期）変更申請

概要：犬山市歴史的風致維持向上計画（第2期 計画期間：令和元年度～令和10年度）の見直しを行い、令和4年3月2日付けで変更申請を行った。変更申請にあたっては、令和4年2月14日に開催した犬山市歴史まちづくり協議会による協議内容、令和4年2月1日～2月21日に実施したパブリックコメントの意見を反映している。

4. 民俗文化財保存伝承事業

概要：民俗文化財の保存伝承における後継者不足を補う支援策として伝統行事等に使用される道具などの保存修理及び新調、後継者育成事業に対して補助金を交付している。令和3年度は後継者育成事業23件の申請があったが、新型コロナウイルス感染拡大を受けて祭礼を中心し、14団体が申請を取り下げ、9件に対して補助金を交付予定である。8団体が申請を取り下げている。

令和4年度歴史まちづくり関連事業計画（案）について

1. 中部歴史まちづくりサミット

概要：年に一度中部地区各都市持ち回りで開催しているもので、歴史的風致維持向上計画が国の認定を受けた16都市の首長が一堂に会して歴史まちづくりに関わる様々な課題について情報交換をしている。令和4年度は郡上市で開催予定。

2. 犬山市歴史まちづくり賞事業

概要：景観や風情の向上に貢献している伝統的な意匠などに優れた建造物を表彰することで、歴史的建造物を将来にわたって守り続け、そして城下町の伝統的な景観を次世代へ継承していくために、平成29年度より実施している。

令和4年度も継続して実施予定。

3. 犬山市歴史的風致維持向上計画（第2期）変更申請

概要：犬山市歴史的風致維持向上計画（第2期 計画期間：令和元年度～令和10年度）の見直しを行い、令和5年3月に変更申請を予定。変更申請にあたっては、犬山市歴史まちづくり協議会による協議内容、パブリックコメントの意見を反映する予定。

4. 民俗文化財保存伝承事業

概要：民俗文化財の保存伝承における後継者不足を補う支援策として伝統行事等に使用される道具などの保存修理及び新調、後継者育成事業に対して補助金を交付する。

(3) 犬山祭の保存修理等及び地域の伝統行事等伝承事業について

1 犬山祭の保存修理等について

練屋町國香欄保存修理事業 修理概要

(1) 事業に係る文化財の概要

イ. 名称等

名称	所在地	指定年月日	備考
犬山祭の車山行事 (練屋町)	犬山市内(練屋町)	H18.3.15.	練屋町懸装幕(中幕復元新調) 練屋町人形(からくり人形修理)

ロ. 修理前の状況

練屋町の車山「国香欄」に懸装される現用の中幕「白地鳳凰文様羅背板刺繡幕」、「白地玄武文様羅背板刺繡幕」、「白地虎文様羅背板刺繡幕」、「白地龍文様羅背板刺繡幕」は、昭和4年に修理が行われたと伝えられている。経年により劣化と損傷が進んでおり、すでに幕の使用限界に達している。からくり人形は第383回犬山祭(平成29年)において上山の格天井が落下し、唐子人形及び文殊人形等に破損が見られる状況である。

(2) 事業の内容

イ. 概要

修理内容(予定)

令和2年度

中幕「白地鳳凰文様羅紗刺繡幕(前)」「白地龍文様羅紗刺繡幕(左)」各1面 復元新調
付属品(飾り房・吊り金具)有

令和3年度

中幕「白地玄武文様羅紗刺繡幕(後)」「白地虎文様羅紗刺繡幕(右)」各1面 復元新調
付属品(飾り房・吊り金具)有

からくり人形「唐子人形」「文殊人形」各1体 修理 文殊人形椅子固定台 復元新調

工期

令和2年4月～令和4年3月

総事業費：金17,830,000円

〔国庫補助金：金8,915,000円〕

〔県費補助金：金1,603,000円〕

〔市費補助金：金5,943,000円〕

〔所有者負担額：金1,369,000円〕

ロ. 工事事務

- ・犬山祭伝承保存委員会で了承された修理方針に基づき、犬山祭の車山行事(練屋町)修理委員会の監修のもとで事業を実施する。

〔修理委員会の構成〕

練屋町代表者 11名

植木行宣氏(犬山祭伝承保存委員会委員長)

鬼頭秀明氏・藤井健三氏・久保智康氏・石榑康彦氏(犬山祭伝承保存委員会)

- ・国庫補助事業の特別会計を設け、帳簿を作成し、適切に予算を執行する。

- ・詳細な修理記録を作成する。

練屋町車山「国香欄」中幕 復元新調／からくり人形 修理



中幕（新調幕）

〔右面〕白羅紗地虎図刺繡幕



(参考: 旧幕)



中幕（新調幕）

〔左面〕白羅紗地亀蛇図刺繡幕



(参考: 旧幕)



からくり人形（修理後）

（左）唐子人形

（右）文殊人形

2 地域の伝統行事等伝承事業について

事業概要：p.4「地域の伝統行事等のための伝承事業」参照

(1) 地域の伝統行事等伝承事業（国指定等）

ア. 犬山祭の車山行事の魚屋町中幕復元新調

(ア) 事業者 犬山祭保存会（魚屋町）

(イ) 事業概要 中幕 2 面（前面・右面）の復元新調

※全 4 面中の残り 2 面（後面・左面）及び赤幕 4 面を令和 5 年度に復元
新調予定

(ウ) 総事業費 8,770,000 円（予定） ※国庫補助額等未定

イ. 犬山祭の車山行事の下本町車山保存修理

(ア) 事業者 犬山祭保存会（下本町）

(イ) 事業概要 車山の屋根廻り部材（野地板・垂木・破風・鬼板・懸魚・格天井・棟桁・
脇桁・鋳金具）の保存修理

(ウ) 総事業費 4,734,000 円（予定） ※国庫補助額等未定



魚屋町現中幕（右面）



下本町屋根廻り部材（部分）

(2) 地域の伝統行事等伝承事業（国指定等以外）

ア. 用具等整備事業（市内の民俗芸能や伝統行事に用いる神楽屋形や楽器等の修理・新調）

(ア) 事業者 （仮称）犬山市文化遺産活用推進実行委員会

(イ) 事業概要 ①安戸町内会の神楽屋形の修理

②二の宮稚児山（壇尻）保存会の桶胴太鼓の修理

③虫鹿神社御神楽保存会の大太鼓修理と小太鼓新調

④寺洞町内会お宮関係文化財保存会の神楽（御輿）・獅子頭修理

⑤荒井組神楽保存会の獅子屋形修理

⑥獅子（囃子）保存会の締太鼓修理

⑦橋爪上組会の神楽屋形修理と篠笛新調

(ウ) 総事業費 19,631,220 円（予定） ※国庫補助額等未定



①



②



③



④



⑤



⑥



⑦

地域の伝統行事等のための伝承事業



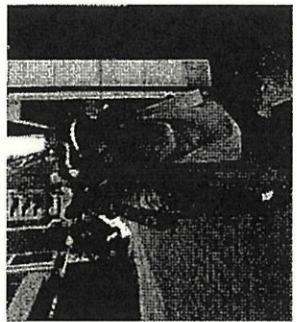
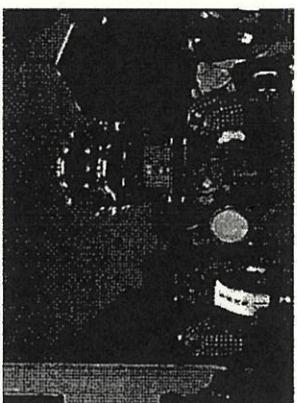
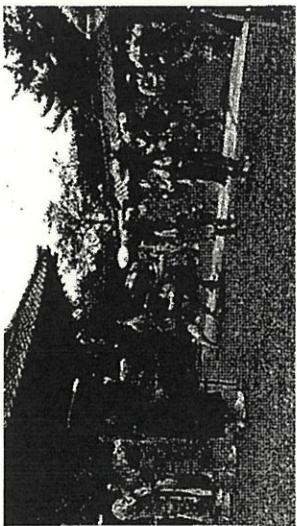
令和3年度補正予算額

65億円

大臣

背景・課題

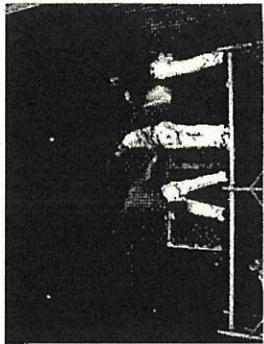
地域の基础设施である伝統行事や民俗芸能等は、新型コロナウイルス感染症の影響により、行事等の開催が困難となり、その存続が危機的な状況になっている。そのため、相談窓口を設置し、伝統行事等の伝承のための支援を検討の上、オンライン配信などによる活動の継続を図るなどに、山車や用具の修理など、伝統行事等の伝承のための支援を行うことにより地方活性化に資することを目的とする。



事業内容

国指定等文化財及び地域に古くから継承されている当該地域に固有の伝統行事等に対して、オンライン配信、アーカイブ化等のデジタル技術を活用した公開や用具等の修理など、ウィズ・コロナ及びアフター・コロナにおける伝承基盤の整備及び発展的開催のための支援を行う。

- 1. デジタル技術を活用した伝統行事等の公開支援**
 - 相談機能を整備しながら、デジタル技術を活用するなどして公開を促進することにより活動継続を支援



屋台の修理

- 2. 山車・衣装等の用具修理や伝承者養成等の伝承基盤整備**
 - 用具等の整備や次世代へ継承していく伝承者等に対して支援することにより伝承基盤を整備

伝統行事や民俗芸能等を支援することにより、文化財等の活用や継承する効果的な取組を促し、地域の確や交流が途絶えた地域コミュニティーの絆を回復するとともに、地方活性化を推進する。

令和3年度文化財建造物の保存修理事業の進捗について

1. 景観条例の改正について（都市計画課事業）

景観条例は良好な景観の形成を促進し、犬山市固有の風趣ある景観を保全又は創造するため必要な事項を定めることにより、ゆとりと潤い、愛着と活力のある美しいまちを実現することを目的に定められた条例である。近年、犬山城下町では、城下町の景観の核となる歴史的建築物等の除却が増加している状況にあり、これらの歴史的建築物（※）を保存するために、歴史的建築物の指定制度、歴史的建築物の解体時の届出制度、歴史的建築物等の改修費の支援の拡充や利活用のマッチング支援制度を創設し、令和3年度から事業に着手している。

＜事業内容＞

- (1) 歴史的建築物等に関する情報のデータベース化
 - (2) 歴史的建築物の指定 (148件)
 - (3) 歴史的建築物を景観助成の対象とする。

※ 「歴史的建築物」は景観計画に定める犬山城周辺地域内の歴史的な様式や手法により建築されたもの（社寺仏閣を除く）を対象としている。

2. 令和3年度犬山市文化財保存事業費補助金事業について・・・・・・・・・・・・ 資料4-1

国登録有形文化財（建造物）等を地域の資産として残していくため、歴史的風致維持向上計画の重点区域内に建つ歴史的建造物を歴史的風致形成建造物に指定し、修理費用の一部を助成する。令和3年度は希望者と調整を進めていたが、直前になって事業を見送ることになり予算化をしていない。

今後の修理案件の掘り起こしのため、平成24年度に実施した歴史的建造物の残存状況調査を実施した。(資料4-1)

令和4年度文化財建造物の保存修理事業計画（案）について

1. 令和4年度犬山市文化財保存事業費補助金事業について

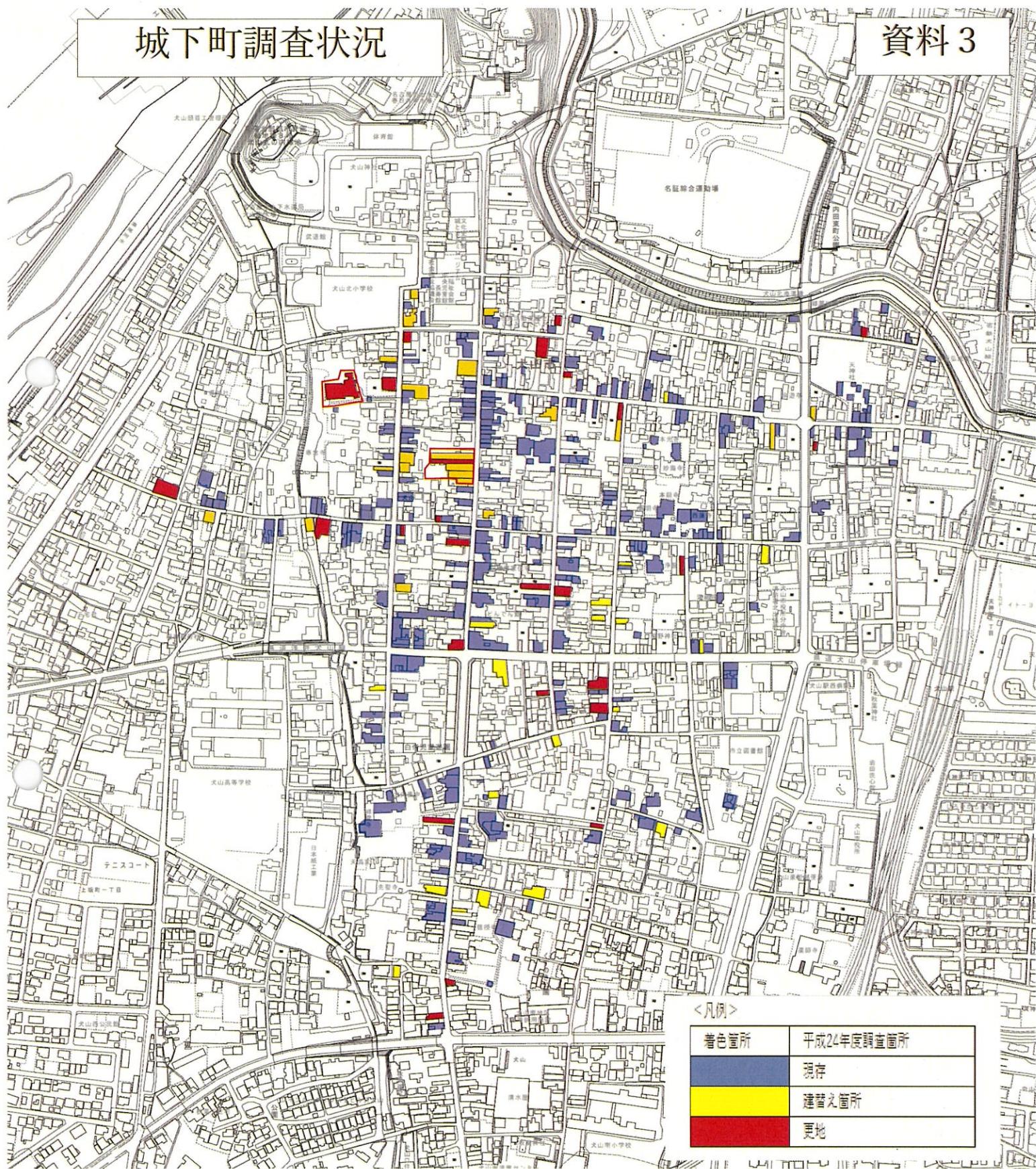
国登録有形文化財（建造物）等を地域の資産として残していくため、歴史的風致維持向上計画の重点区域内に建つ歴史的建造物を歴史的風致形成建造物に指定し、修理費用の一部を助成する。

令和4年度については、3件の修理を実施予定。実施にあたっては、犬山市伝統的建造物保存委員会の指導・助言を得て進める。

また、令和5年度以降の修理の実施スケジュールを更新する。

城下町調査状況

資料3



令和 3 年度 犬山城関連主要事業の進捗について

1. 犬山城の保存活用に関する事業

- (1) 大手門枡形跡（犬山市福祉会館跡地）発掘調査 ······ 資料 5-1
 ○犬山城大手門枡形跡に位置する犬山市福祉会館跡地について、堀跡、土塁跡等の遺構の範囲及び残存状況、堀跡の形状（幅、深さ等）等の確認を目的とした発掘調査を実施した。
 ○7月 20 日（月）から 11 月 6 日（金）にかけて発掘調査を実施。屈折部を含む近世期の堀の正確な位置や規模・形状などを把握することができた。発掘調査報告書を 3 月中に刊行予定。
 ○10 月 2 日（土）に地元住民向けの現場公開（参加者約 40 人）、3 日（日）に市民向けの現地説明会（参加者約 100 人）を実施。12 月 11・12 日（土・日）に名古屋市博物館で開催された「あいちの考古学 2021」にポスターセッションで参加（来場者数約 100 名）。

(2) 石垣調査の実施

- 本丸北側・南東側、杉の丸東側、樅の丸南東側・南側・西側、松の丸南東側の石垣の三次元測量、現況調査を実施し、石垣カルテを作成した。

(3) 移築された門・櫓の復元に向けた調査 ······ 資料 5-2

- 犬山城城郭調査の一環として、廃城時に移築された市内外に現存する犬山城の門、櫓について、将来的な移築又は復元の際の基礎資料とし、記録としての保存を図ることを目的として、2 基の門の実測調査及び痕跡調査を実施。

（実績）：淨蓮寺門（一宮市：伝松の丸門）

期間：令和 3 年 8 月 5 日、10 月 28 日（2 日間）

調査：指導員：名古屋工業大学大学院 名誉教授 麓和善（犬山城城郭調査委員会）

：名古屋工業大学 准教授 濱田晋一

調査員：名古屋工業大学の学生 延べ 11 名

（実績）：徳林寺門（大口町：伝黒門）

期間：令和 3 年 10 月 7 日、10 月 18 日（2 日間）

調査：指導員：名古屋工業大学大学院 名誉教授 麓和善（犬山城城郭調査委員会）

：名古屋工業大学 准教授 濱田晋一

調査員：名古屋工業大学の学生 延べ 8 名

(4) 犬山城城郭内樹木剪定伐採

- ・国宝犬山城天守・史跡犬山城跡 保存活用計画に基づき、遺構、眺望、來訪者、植生、景観に影響がある樹木を対象に、伐採、剪定等を実施。
- ・委託期間：令和 4 年 2 月 15 日～令和 4 年 3 月 25 日
- ・委託金額：3,300,000 円
- ・委託業者：有限会社芳葉園土木
- ・城郭内東側 8 本、登閣道、城山西及び北斜面の枯木、枯枝 12 本

(5) 犬山城天守防災対策

○ノートルダム大聖堂、首里城跡での火災を受け、令和元年12月には国が「世界遺産・国宝等における防火対策5か年計画」を決定するとともに防火対策ガイドラインを改訂しその内でスプリンクラー設備等の自動消火設備等の整備など、初期消火対策の徹底に対して重点的に整備を進めることができた。これを受け、令和2年度より初期消火に有効なスプリンクラー設備の設置に向けた検討を開始した。

- ・令和2年度は天守内部の全ての階にスプリンクラーを設置した場合の概算設計を実施し、木造文化財建造物防災対策の専門家の現地調査により防災対策の課題を調査した。
- ・令和3年度は前年度の専門家現地調査をうけ、犬山城修理委員会で検討した結果、木造文化財建造物である国宝犬山城の特性を十分考慮した形での防災対策を比較検討しながら、最適な対策を施す方針となった。
- ・令和4年度は放水銃の自動化、電源系統の見直し、防犯カメラの設置、人員配置の見直し等を検討する。

(6) 「近世城郭の天守群」の取り組み

○令和3年3月末に、文化庁文化審議会より「我が国における世界文化遺産の今後の在り方（第一次答申）」が出され、世界遺産暫定一覧表の見直しが明記された。

令和3年度も、国の文化審議会世界文化遺産部会で引き続き審議されている。

○国宝5城による「近世城郭の天守群」での、世界遺産暫定一覧表への記載に向け、松本市、松江市、犬山市の3市で、国内の世界遺産や天守建築の専門家等から、方向性の確認や資産価値についての意見聴取、基礎的な調査研究や課題の洗い出しに加え、海外の専門家から現時点での提案書に関しての意見聴取を実施し、顕著な普遍的価値（OUV）の磨き上げを共同で実施した。

(7) 犬山城講演会「国宝犬山城天守再考」の開催

- ・国宝犬山城天守の創建年代を科学的に解明するために実施した年輪年代法による年代測定調査と、建物全体に及ぶ変遷過程等について詳細に検証した成果をお話しいただいた。

日時 10月24日(日) 13:30～16:40 (12:30 開場)

場所 犬山市民交流センターフロイデ 4階フロイデホール

講師 名古屋工業大学名誉教授 麓和善氏

奈良文化財研究所客員研究員 光谷拓実氏

定員 118人 費用 無料

2. 犬山城の管理に関する事業

(1) 主な維持・修繕

○四阿が経年劣化により東側に傾き、安全が確保できないため地上部分の撤去工事を実施
(令和3年9月15日)

○入場門小扉の施錠は門錠で行っていたが、消防隊の進入が迅速に行えるよう外部から解錠が可能

な施錠に取替（令和 4 年 1 月 24 日）

○天守で火災が発生した場合に消防活動が迅速安全に行えるよう、自動火災報知設備の発報に連動して屋外及び天守内照明が点灯するよう改修（3 月末完了予定）

※点灯時間等：屋外照明は日没から午後 10 時まで点灯

天守内照明は午後 5 時閉門後、管理事務所で電源遮断

○空堀、城山西斜面周辺の草刈を 7 月及び 11 月に実施

(2) 犬山城の消防訓練及び無料開放の実施

○貴重な文化財保護の大切さを終始するため、1 月 26 日の文化財防火デーに合わせ消防訓練及び無料開放を実施

- ・日 時：令和 4 年 1 月 26 日（水）午前 10 時から午前 11 時 00 分
- ・内 容：文化財の防災意識を高めるとともに火災発生時の初動対応を円滑に行えるよう、犬山城職員、夜間警備員、消防署等との合同消防訓練を実施。
- ・想 定：不審者の放火により天守 2 階中央付近から出火し延焼拡大をしている。天守内には多くの来城者がいる。
- ・参 加 者：36 名（犬山城 23 名 夜間警備員 2 名 消防署 7 名 歴史まちづくり課 4 名）
- ・無料開放：9：00～17：00
- ・入場者数：524 人

○図上訓練の実施：令和 4 年 3 月 3 日（木）

- ・本年度から防災体制の強化のため、消防本部予防課の指導により、天守からの出火を想定した図上訓練を実施

令和 4 年度 犬山城関連主要事業計画（案）について

(1) 史跡犬山城跡整備基本計画策定

○史跡指定地である城山、三光寺山に加えて、追加指定候補地である犬山市福祉会館跡地を含む史跡全体を対象とした整備基本計画を策定する。

(策定期間) : 令和 4・5 年度の 2 カ年

(2) 石垣調査の実施

○史跡犬山城跡の石垣の三次元測量等を行い、現状を調査して石垣カルテを作成し、保存・修理のための基礎資料とする。

(実施箇所) : 本丸東側、杉の丸南側・西側

(3) 石垣保護工事 ······ 資料 5-3

○孕みなどが見られる松の丸南東側（針綱神社參集殿）の石垣を保護し、周辺の安全確保を図るため、石垣表面及び石垣下斜面の立木間に樹脂製ネットを設置する石垣保護工事を実施する。

(工期) : 5 月から 7 月頃（予定）

(4) 犬山城黒門跡礎石発掘調査 ······ 資料 5-4

○市外に移築され、現存している黒門の原位置での復元整備について検討するため、礎石の残存状況や地形の改変状況を確認するための発掘調査を実施する。

(工期) : 調整中

(5) 移築された門・櫓の復元に向けた調査 ······ 資料 5-2

○犬山城城郭調査の一環として、廢城時に移築された市内外に現存する犬山城の門、櫓について、将来的な移築又は復元の際の基礎資料とし、記録としての保存を図ることを目的として、実測調査及び痕跡調査を実施。

(予 定) : 運善寺山門（一宮市：伝清水門）、専修院山門（扶桑町：伝矢来門）

(調整中) : 瑞泉寺山門（一宮市：伝内田門）

(6) 犬山城城郭内樹木剪定伐採

○国宝犬山城天守・史跡犬山城跡 保存活用計画に基づき、遺構、眺望、来訪者、植生、景観に影響がある樹木を対象に、伐採、剪定等を実施。

(計画) 城郭内西側周辺を中心に、危険度、緊急度、重要度等に応じて対象木を選定。

※入場登闈料の収入状況を見ながら実施可否、実施本数を決定する。

(7) 犬山城天守防災対策

○国宝・重要文化財（建造物）等の防火対策ガイドラインを受け、令和 2 年度の犬山城天守スプリンクラー概算設計、文化財建造物の防火・防災対策の専門家による現地調査の結果に基づき、犬山城天守へのスプリンクラー設置の検討、人員配置計画等、今後の防火・防災対策全般について具体

的な協議を進める。

※他の国宝四城の対策も調査し検討する。

(8) 「近世城郭の天守群」の取り組み

- 令和3年3月末に、文化庁文化審議会より「我が国における世界文化遺産の今後の在り方（第一次答申）」が出され、世界遺産暫定一覧表の見直しが明記されたことを受け、令和4年度中に一定の方向性が出される見込みのため、その動向を注視し、今後の活動の方向性の再検討を行う予定。
- ・国宝5城による「近世城郭の天守群」での、世界遺産暫定一覧表への記載に向け、松本市、松江市、犬山市の3市で、引き続き、世界遺産や天守建築の専門家等から、方向性の確認や資産価値についての意見聴取、基礎的な調査研究や課題の洗い出し等を行い、顕著な普遍的価値（OUV）の磨き上げを共同で実施する。
- ・海外の専門家を招いて、近世城郭の天守群の価値や、提案書原案についての意見聴取や、提案書原案の英訳についてアドバイスをもらう予定。
- ・姫路市及び彦根市の準備会への加盟について、更なる働きかけを行う。

2. 犬山城の管理に関する事業

(1) 主な維持・修繕

- 来訪者が快適に登閣してもらうために、経年劣化した設備等を適切に維持・修繕する。
 - ・城郭内案内看板改修工事
 - ・天守一階展示スペース撤去工事
 - ・城郭内櫓跡地コンクリート撤去工事
 - ・城郭内トイレ洋式化改修工事
 - ・城郭内四阿基礎撤去工事

(2) 犬山城の消防訓練及び無料開放の実施・防災対策強化

○犬山城防災訓練の実施（日程調整中）

- ・文化財の防災意識を高めるとともに発災時の初動対応を円滑に行えるよう、文化財防火デーに合わせ、犬山城職員、夜間警備員、犬山市消防本部・消防署等との合同消防訓練を実施。

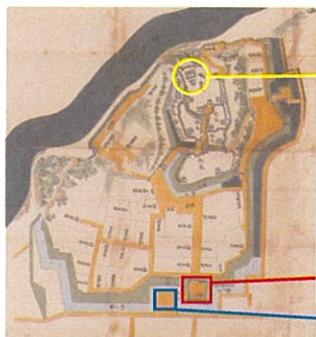
○火災を想定した“夜間初動訓練”的実施

- ・夜間火災発生における初期対応を迅速的確に行えるよう“夜間初動訓練”を実施。

○図上演習の実施

- ・火災が発生した場合、その被害を最小限に抑えるため職員がとるべき行動を、自ら考えて、最善の方法を導き出すことが出来るよう“火災図上訓練”を繰り返し実施し、PDCAサイクル（計画→訓練→検証→マニュアル改定）によるマニュアルの整備と、初動体制の向上を図る。

犬山城大手門枡形跡（犬山市福祉会館跡地）発掘調査



犬山城修復願雛形絵図
安永9年(1780)
犬山城白帝文庫蔵
(一部加工)
大手門枡形の堀、土塁、石垣
大手口



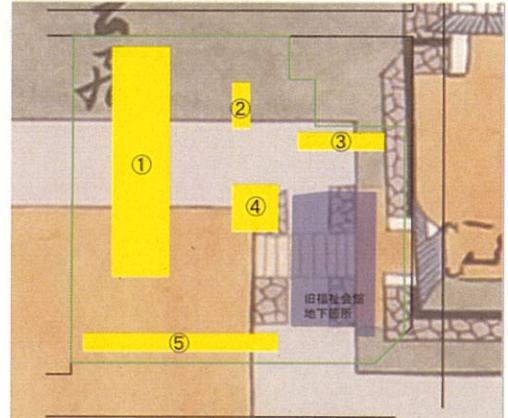
今回調査を行った犬山市福祉会館跡地の付近には、かつて犬山城への入口となる大手門と石垣や土塁、堀などでつくられた大手門枡形がありました。過去の調査などでも、堀や土塁などの痕跡が確認されたことから、この場所は国史跡犬山城跡の追加指定候補地となっています。

今回の調査は堀や土塁などが地下にどの程度残されているか、また、それがどのような大きさや形だったかを確認するため調査を実施しました。

犬山城付近の航空写真

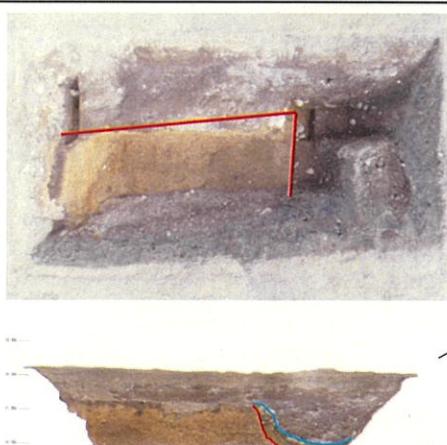


①福祉会館建設時の整地
②昭和期(戦後)の埋土
③④明治から昭和期の埋土
⑤廢城後の埋土

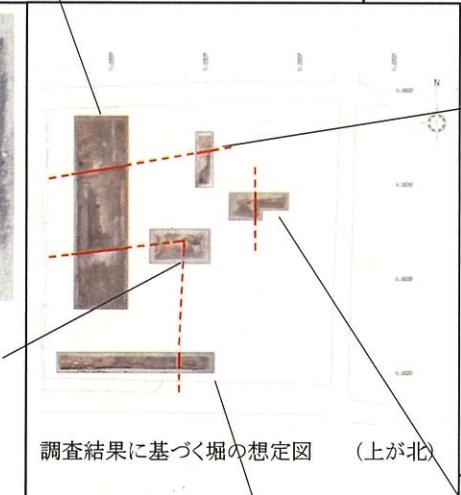


犬山城修復願雛形絵図 安永9年(1780)
犬山城白帝文庫蔵

この場所には犬山市福祉会館がありましたが、令和2年度に解体されたため、今回、史跡の追加指定に向けた調査を行いました



4トレンチ



調査結果に基づく堀の想定図 (上が北)



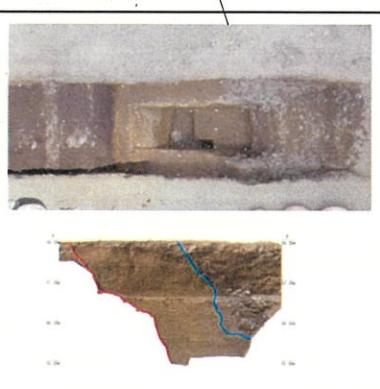
2トレンチ (右が北)



3トレンチ



屈折部拡大写真



5トレンチ

調査成果

- ・犬山城の城内と城外を区画する外堀の一部が、地下に良好な状態で残されていること判明しました。
- ・堀の規模としては、幅約 17.5m、深さは 6.5m 以上で、絵図の記載とほぼ一致することがわかりました。
- ・水のない空堀であることや石垣のない素掘りであることが確認できました。
- ・堀の正確な位置や、東西方向から南北方向に折れ曲がる場所が特定できました。
- ・堀の埋土の堆積状況や出土遺物から、明治 6 年に犬山城が廃城となった際に土塁を崩して埋め立てられたとみられる層、明治から昭和の古い時期に埋められた層が新旧で 2 層、戦後に埋められた層の合計 4 回にわたって埋められた状況が判明しました。
- ・絵図では、堀は東西方向と南北方向に平行に走っており、大手口は正方形となっていますが、各調査区で確認した堀の端を結んだ結果、大手口東側は南北方向にまっすぐ進んでいますが、大手口北側はやや北側に振れていることが判明しました。

調査写真



犬山城移築門・櫓について

図面番号	名称	現所在地		文化財指定		移築履歴	備考	実施状況
		施設名	住所	有無	区分			
①	清水門	運善寺	一宮市浅井町大日比野	有	一宮市指定文化財 昭和44年 指定	明治初年 移築	一宮市教育委員会設置看板	R4年度 予定
②	松ノ丸門	淨蓮寺	一宮市穂積塚本	有	一宮市指定文化財 昭和44年 指定	明治初年 移築	一宮市教育委員会設置看板	R3年度 実施
③	矢来門	専修院	扶桑町柏森字西屋敷	有	扶桑町指定文化財 昭和49年 指定	明治7年	『犬山市史 資料編 6』	R4年度 予定
④	黒門	徳林寺	大口町余野	有	大口町指定文化財 昭和61年 指定	明治9年 (一説に13年)	『犬山市史 資料編 6』	R3年度 実施
⑤	内田門	瑞泉寺	犬山市大字犬山字瑞泉寺	無				調整中
⑥	松ノ丸裏門	常満寺	犬山市大字犬山字西古券	無		明治7年 (一説に10年)	『犬山市史 資料編 6』	実施済
⑦	宗門櫓	個人	江南市前飛保西町	無		明治13年	『犬山市史 資料編 6』	調査中

令和2年度

⑥実施



⑦継続



令和3年度

②実施



④実施

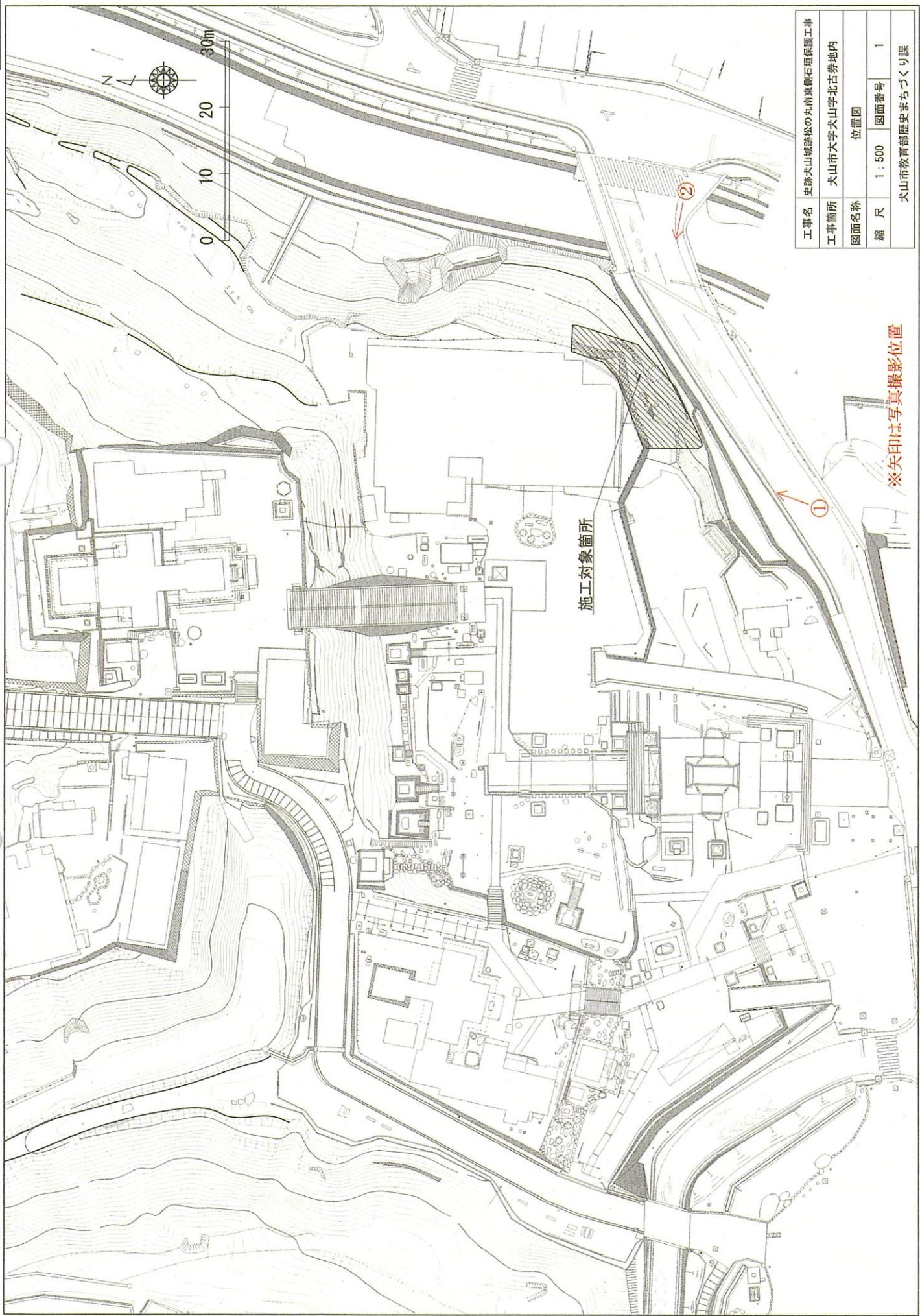


犬山城から移築された門・櫓の位置について



絵図出典:犬山市教育委員会 1979『犬山市史 資料編1 近世絵図集』

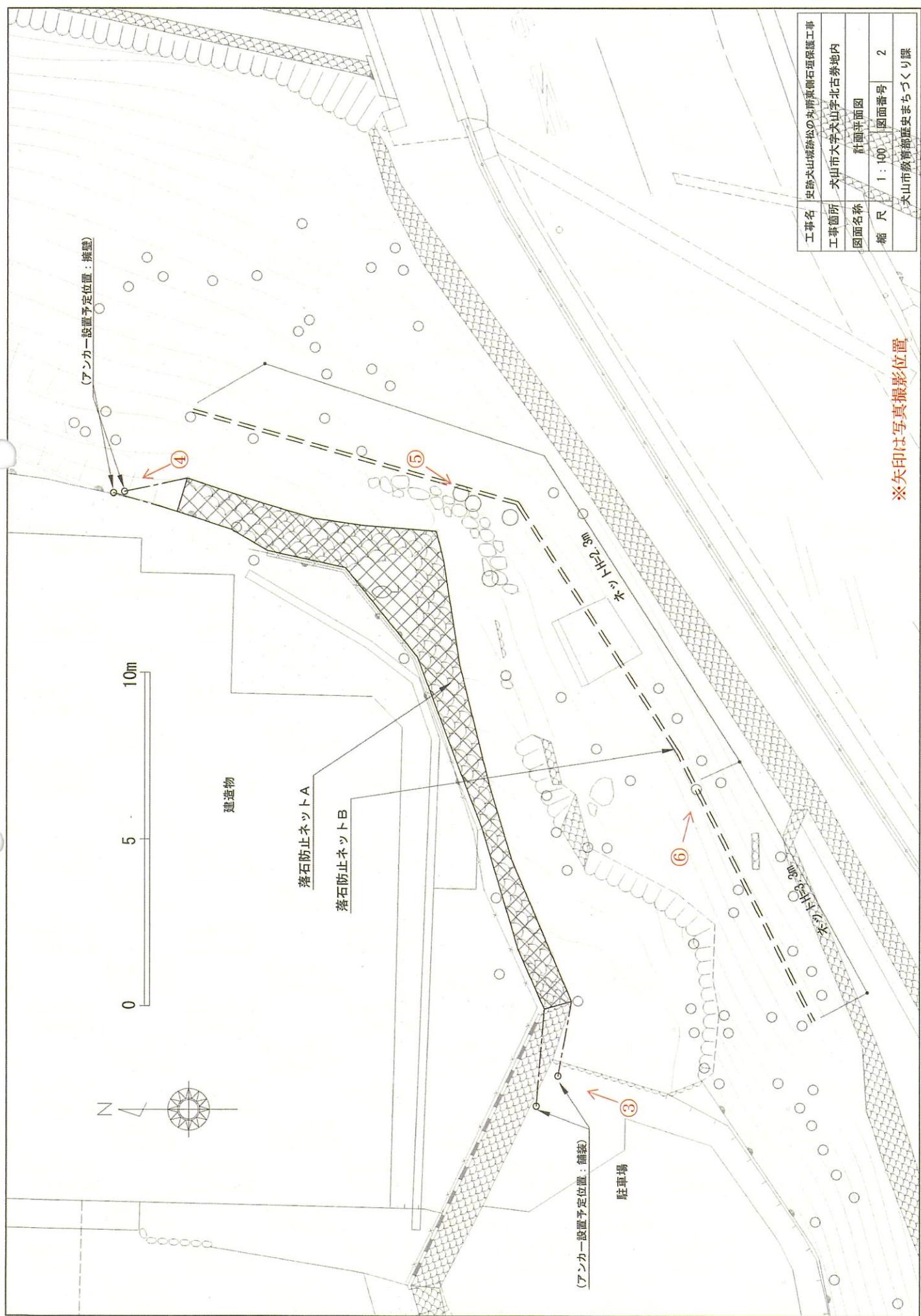
- ① 清水門? : 運善寺 (一宮市浅井町) へ
- ② 松ノ丸門 : 淨蓮寺 (一宮市穂積塚本) へ
- ③ 矢来門 : 専修院 (扶桑町柏森) へ
- ④ 黒門 : 德林寺 (大口町余野) へ
- ⑤ 内田門 : 瑞泉寺 (犬山市瑞泉寺) へ
- ⑥ 松ノ丸裏門 : 常満寺 (犬山市西古券) へ
- ⑦ 宗門櫓 : 個人宅 (江南市) へ



工事名	忠路大山城跡松の丸前東側石垣保護工事
工事箇所	大山市大字大山字北古券地内
図面名称	計画平面図
縮尺	1:100 図面番号 2

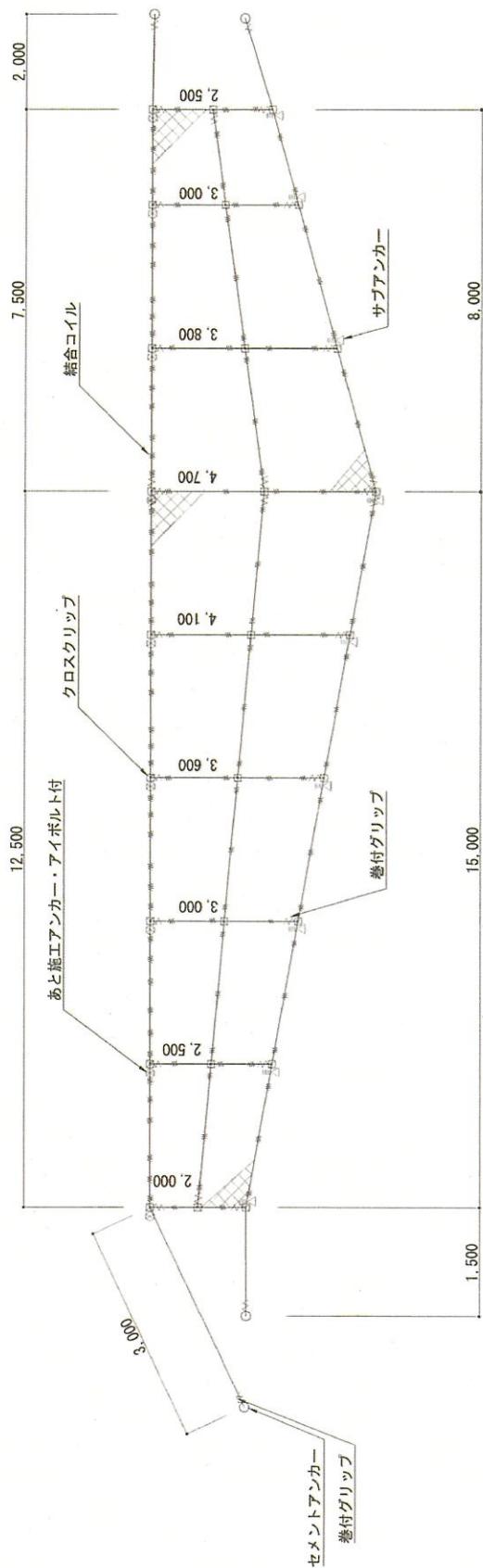
大山市教育委員会歴史まちづくり課

※矢印は写真撮影位置



展開図 S=1:100

落石防止ネットA



施工材料数量表

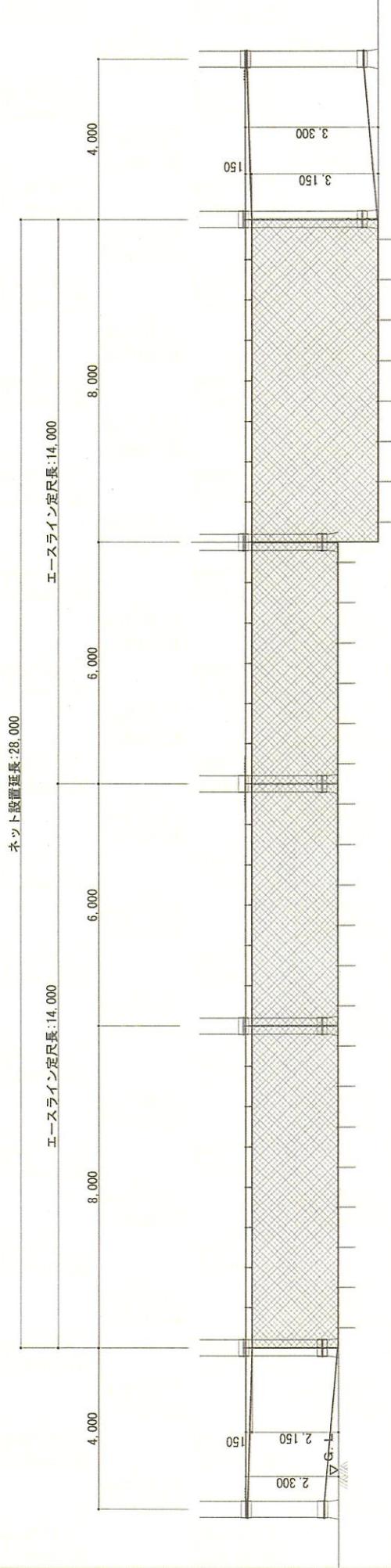
記号	材料名	仕様	単位	数量
■	金網	高耐久ポリエスチル製亜甲ネット	m ²	110
—	ワイヤーロープ	3×7 6/0 φ12	m	108
□	クロスクリップ	3.2×50×60	個	27
*	結合コイル	φ3.2×50×300	個	123
△	巻付グリップ	φ12~800	本	30
≡	ワイヤーグリップ	φ3mm用	個	36
○	セメントアンカー	D22×1,000	本	4
△	サブアンカー	S27ンカー	本	9
◎	あと施工アンカー・アイボルト付	#16GA・16mm用	本	9

工事名	史跡犬山城跡松の丸前東側石垣保護工事		
工事箇所	犬山市大字犬山字北古券地内		
図面名称	詳細図-1		
縮尺	図示	図面番号	3

・ネット設置箇所及びアンカー設置箇所については、事前に設置予定箇所を確認し、監督職員の承認を得ること。

S=1:100

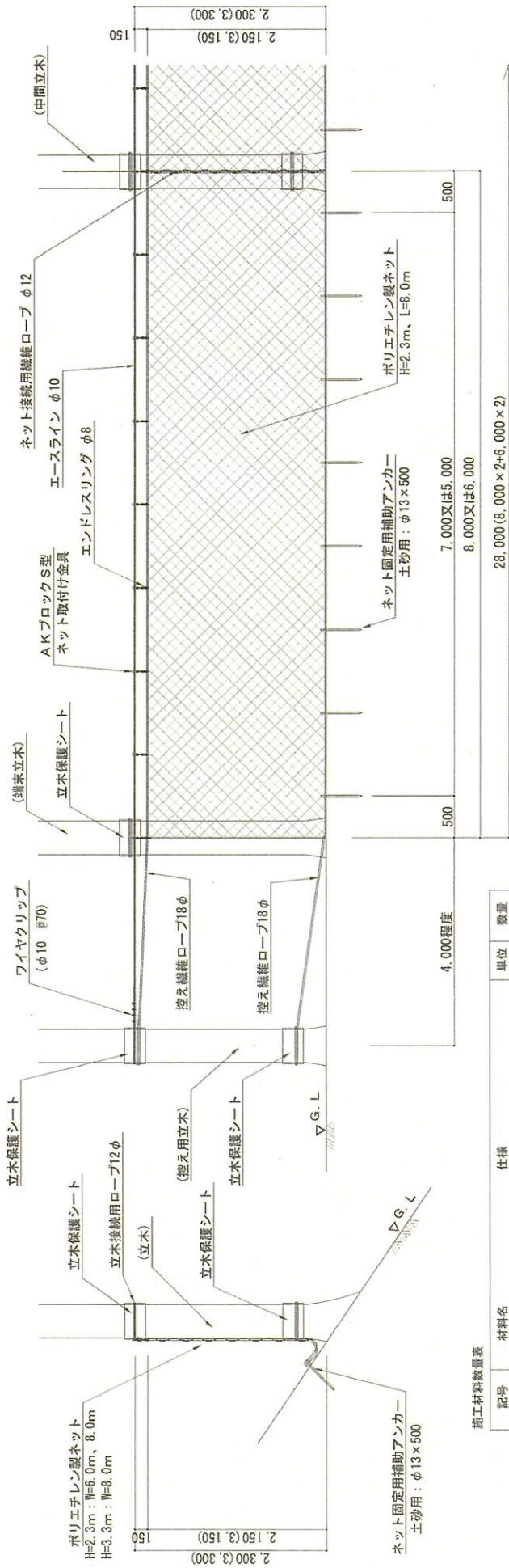
落石防止ネットB



工事名	史跡大山城跡松の丸南東削石垣保護工事		
工事箇所	犬山市大字犬山字北古券地内		
図面名称	詳細図-2		
縮尺	图示	图面番号	4

落石防止ネットB

S=1:50



施工材料数量表		材料名	仕様	数量
記号				単位
	ネット	ポリエチレン製ネット	H=2.3m・W=6.0m	枚 2
	ネット	ポリエチレン製ネット	H=2.3m・W=8.0m	枚 1
	ネット	ポリエチレン製ネット	H=3.3m・W=8.0m	枚 1
=====	エースライン	φ10	m	55
=====	捻入繩ロープ	テトロントエル 18mm	m	26
=====	ネット接続用ロープ	テトロントエル 12mm	m	17
=====	立木接続用ロープ	テトロントエル 12mm	m	56
	立木保護シート	スチラフェルト t=10×500×2000	枚	30
A	K ブロック S型	AK16S5	個	29
	ネット取付け金具		個	29
	エンドレスリング	テトロン8打 6mm	個	29
	ネット固定用補助アンカー	L=500	本	28
	ワイヤクリップ	φ10用	個	16

・ネット設置箇所及びアンカー設置箇所については、事前に設置予定箇所を確認し、監督職員の承認を得ること。

工事名	史跡大山崎跡の丸前東側石垣保護工事		
工事箇所	犬山市大字犬山字北古券地内		
図面名称	詳細図-3		
縮尺	図示	図面番号	5



①施工箇所全景（南西より）



②施工箇所全景（南東より）



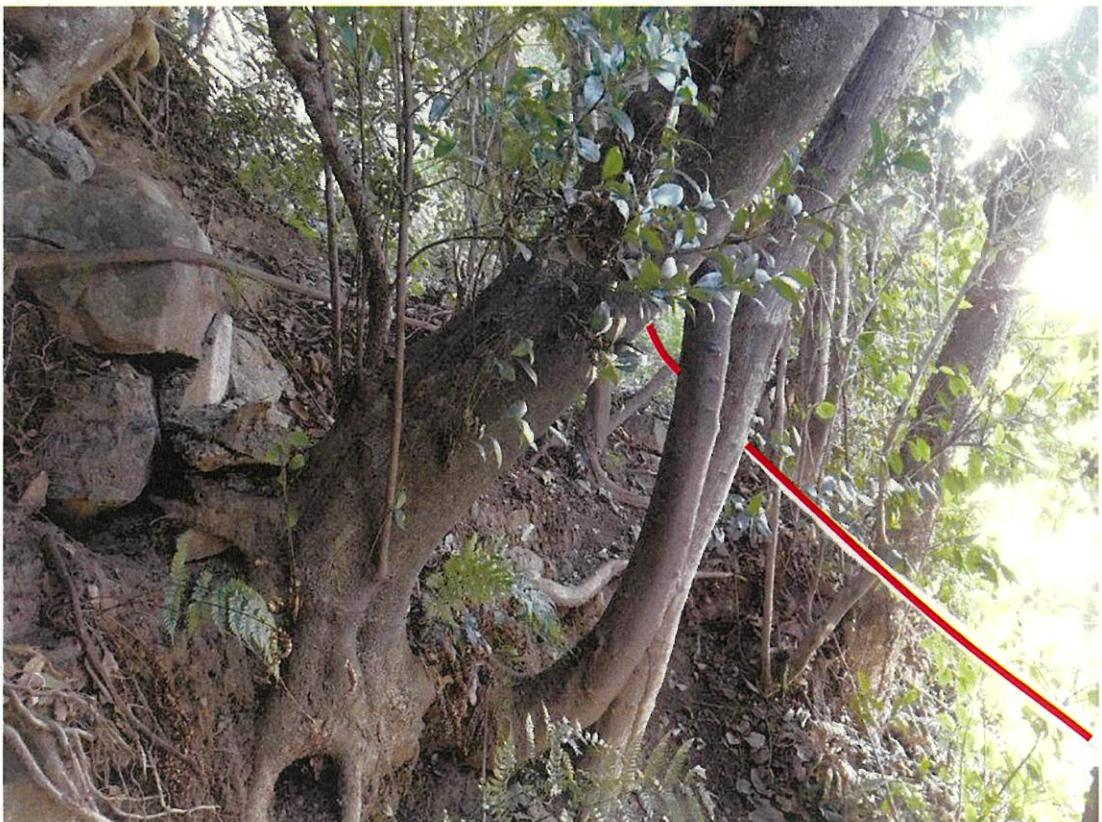
③落石防止ネットA西側（下）アンカー設置予定箇所



④落石防止ネットA北東側（上）アンカー設置予定箇所



⑤落石防止ネットB設置予定箇所



⑥落石防止ネットB設置予定箇所

落石防止ネットA施工例（史跡黒井城跡）

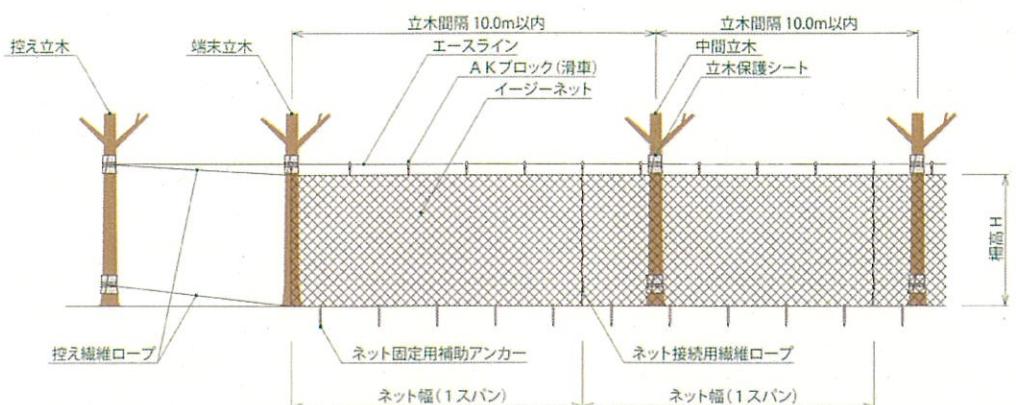


マルチタイプ

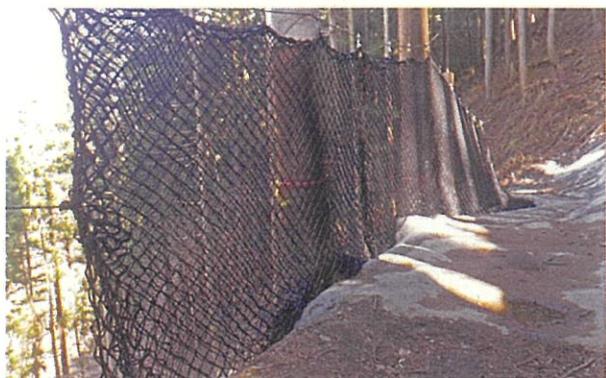
対応能力	落石	[仮設] 200 kJ	設置位置		主要用途	落石防護
------	----	-------------	------	---	------	------



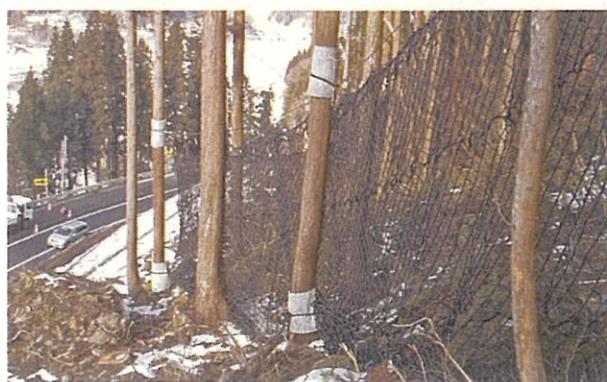
福井県大飯郡おおい町一般国道 162 号



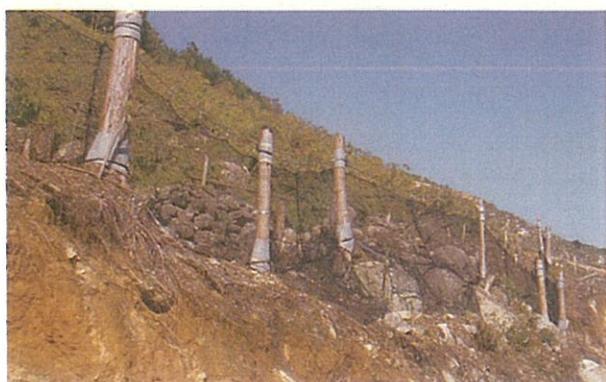
宮城県栗原市栗駒沼倉玉山



神奈川県相模原市津久井町青根



長野県小谷村



三重県熊野市新鹿町



黒門（現 大口町徳林寺山門）



黒門跡

□ 調査予定範囲

令和3年度史跡東之宮古墳整備事業の進捗について

1. 東之宮古墳管理

請負者	一般社団法人パブリックワークス犬山市アメニティ協会
契約期間	令和3年5月～令和4年3月
実施内容	東之宮古墳進入路（成田山側・丸山側）及び古墳周辺の清掃（毎月） 東之宮古墳進入路（成田山側・丸山側）及び古墳周辺の草刈工（年4回）

2. 東之宮古墳普及啓発事業

請負者	特定非営利活動法人古代邇波の里・文化遺産ネットワーク
契約期間	令和3年6月～令和4年3月
実施内容	東之宮古墳 土あげ祭プロジェクト ① 日時 第1回 令和3年9月23日（木・祝）午前10時～正午 【中止】令和3年9月25日（土） ・・・予備日 第2回 令和4年3月21日（月・祝）午前10時～正午 令和4年3月26日（土） ・・・予備日 ② 内容 資料6-1参照 東之宮古墳散策ツアー 【中止】 ① 日時 令和3年9月11日（土）午前9時～正午 令和3年9月18日（土） ・・・予備日 ② 内容 東之宮古墳と犬山祭に関連するコースを散策します。 冬至の日の出見学会 ① 日時 令和3年12月25日（土）午前6時半～午前8時 ② 内容 冬至の出見学、アプリ活用した案内実施

3. 東之宮古墳シンポジウム

- ・史跡整備が完了した東之宮古墳の魅力を発信するために、令和4年2月26日（土）に実施
 - 第1部 報告「史跡東之宮古墳整備について」中村篤史（犬山市教育委員会）
 - 第2部 基調講演「古墳と太陽と月」北條芳隆（東海大学文学部教授）
講演「古代人と冬至の王」赤塚次郎（NPO法人ニワリネット理事長）
 - 第3部 対談（北條芳隆、赤塚次郎）
- ・新型コロナウイルス対策によりオンライン開催（ZOOM）
- ・ZOOMで撮影した動画を犬山市公式Youtubeチャンネル「ONECHAN」にて公開

令和4年度史跡東之宮古墳関連事業計画（案）について

1. 東之宮古墳管理

昨年度と同じく東之宮古墳進入路（成田山側・丸山側）及び古墳周辺の清掃と東之宮古墳進入路（成田山側・丸山側）及び古墳周辺の草刈工を実施予定。実施回数については成田山側の草刈りを5回とし、その他については昨年度と同様の予定。

2. 東之宮古墳普及啓発事業

昨年度と同じく土あげ祭プロジェクト（年2回）、東之宮古墳散策ツアー（年1回）、冬至の日の出見学会（12月）を実施予定

令和3年度 東之宮古墳土あげ祭プロジェクト企画書

1. 東之宮古墳 土あげ祭プロジェクト

日 時：令和4年3月21日（月・祝）午前10時～正午 <実施予定>

令和4年3月26日（土） 午前10時～正午 <予備日>

場 所：東之宮古墳（集合 東之宮古墳成田山側入口）

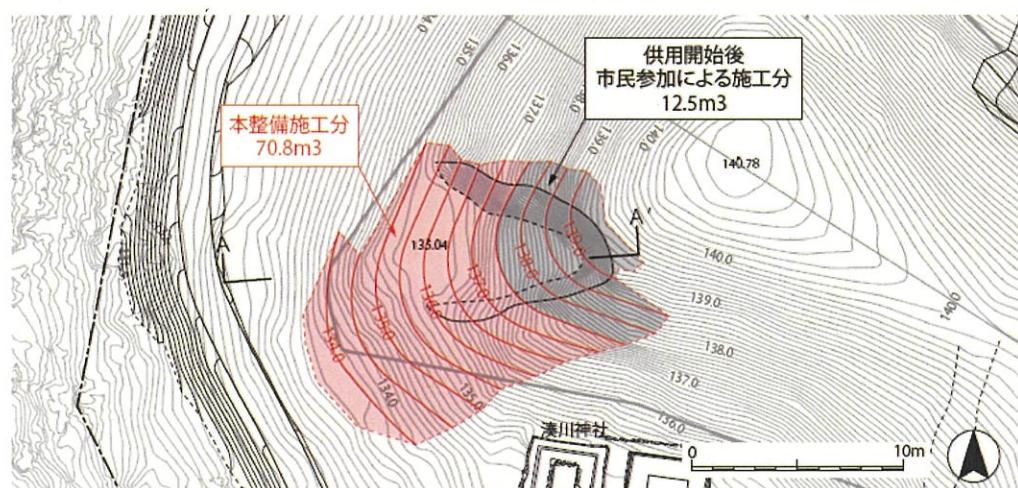
募 集：20人程度

講 師：NPO 法人古代邇波の里・文化遺産ネットワーク 理事長 赤塚次郎氏

内 容：東之宮古墳の前方部の削れている箇所を、市民参加により古墳を修復するイベント「土あげまつり」により修復する。この事業は令和3年度から令和7年度にかけて本格的に実施する。

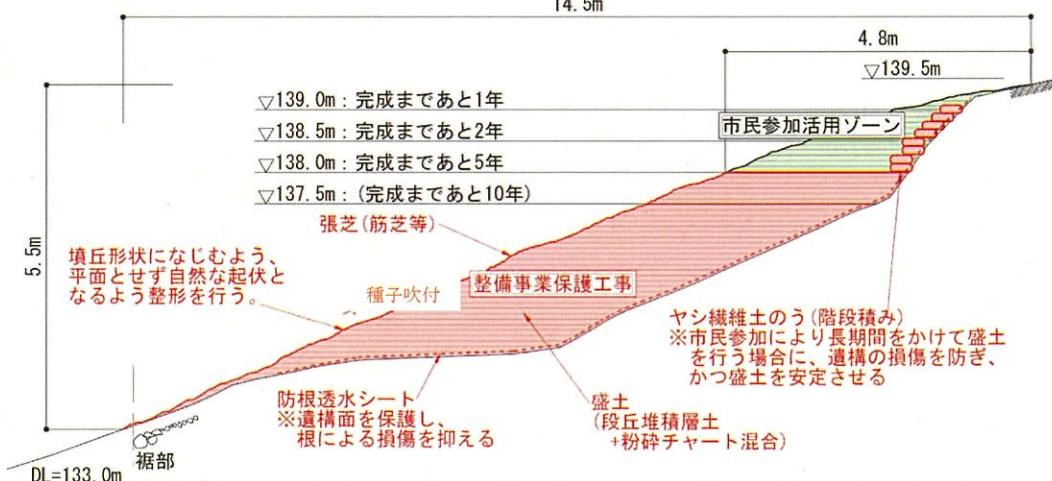
※令和3年9月23日（木・祝）に1回目の土あげ祭を開催する計画であったが、新型コロナウイルス感染拡大を受け、愛知県に緊急事態宣言が発令されたため中止とした。

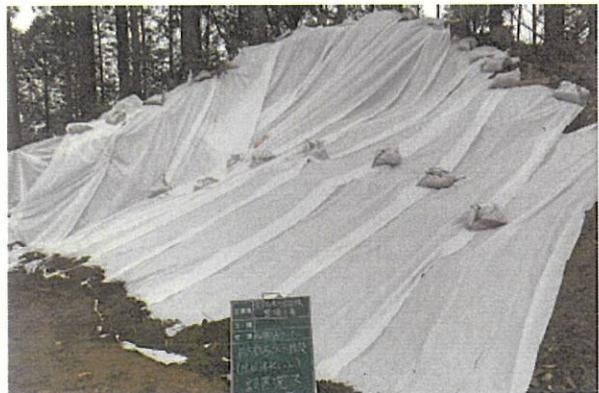
2. 史跡整備工事による埋め戻し状況



[図4-3] 前方部修復平面図 (S=1/300)

14.5m





[写 4-5] 前方部修復 - 防根透水シート敷設



[写 4-6] 前方部修復 - 盛土完了



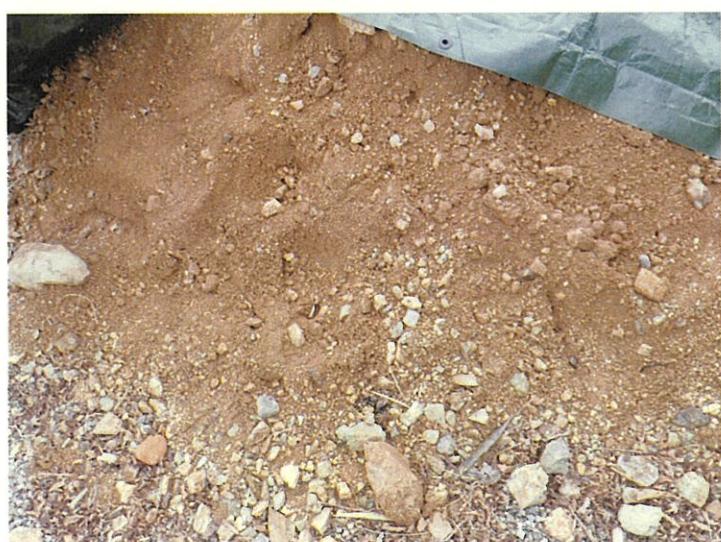
[写 4-7] 前方部修復 - ヤシ繊維土のう保護



[写 4-8] 前方部修復 - 種子吹付完了

3. 実施方法

- (1) 土の作成 @成田山側進入路 広場 (済)
- ・土は木曽川流域の段丘堆積層に粉碎したチャートをブレンドする。
 - ・土（段丘堆積層）は地元工事業者を通し、入手済み。（河川工事で使用するもの。）
 - ・粉碎チャートは進入路の壁面チャートから落下したものを集積して使用。



(2) 土上げ

- ・土のう袋に作成した土を詰め、土漏れ、運びやすさを重視し麻袋で包む。
- ・土のう袋 6 割程度 (20 kg 程度) を用意。
- ・1 人で背負い方式で運びあげる。



(3) 土の叩きしめ

- ・運びあげた土を墳丘の前方部西コーナーに降ろし、木製タンパーを使用して叩きしめる。
(初回が市、委託者で実施)



《 土あげ量 》

◎ 仮定・・・ 背負による土上げ $0.010 \text{ m}^3 \approx 20 \text{ kg}$ (※)

※ ただし、年齢・体力により土量を調整する

① $0.016 \text{ m}^3 / \text{組} \times 20 \text{ 組} \times 2 \text{ 往復} = 0.32 \text{ m}^3$

年 2 回実施 $0.32 \text{ m}^3 / \text{回} \times 2 \text{ 回} / \text{年} = 0.64 \text{ m}^3 / \text{年}$

(4) 修理方針

- ・1700年たった今の墳丘の形状にあわせた修理方針とする。

(5) 技術監修

- ・史跡東之宮古墳整備委員会

(6) イベントでの盛り上げ

- ・委託者が手配した古代人に扮した演者によるパフォーマンス、古代人に扮した参加者によってイベントを盛り上げる。



令和3年度天然記念物ヒトツバタゴ自生地関連事業の進捗について

1. ヒトツバタゴ自生地公有化事業について

天然記念物ヒトツバタゴ自生地の恒久的な保存・活用を行うために、令和3年度に公有化を行いました。

(1) 公有化を行った土地

天然記念物ヒトツバタゴ自生地（大正12年3月7日）

指 定 地：犬山市字西洞41番2（全筆 1843.11m²）

(2) 土地公有化までの流れ

月	内容
6月～7月	自生地の実測調査 → ヒトツバタゴ自生地の指定範囲の実測完了 西洞41番2 1843.11m ² 土地購入費の算定、物件補償費（ヒトツバタゴ、農機具小屋）の算定
7月	地権者協議完了
9月	土地購入費、補償費の補正予算計上
10月	売買契約の締結
12月～1月	土地境界の確認を実施
2月	土地境界確定が完了 土地売買契約締結、補償契約締結
3月	土地の引渡し、所有権移転完了

令和4年度天然記念物ヒトツバタゴ自生地関連事業計画（案）について

1. 天然記念物ヒトツバタゴ自生地保存活用計画の策定について

ヒトツバタゴ自生地の今後の保存・活用方針を定める保存活用計画を策定します。令和4年度は計画策定にあたり、主に環境調査を実施します。（計画策定期間 令和4年～令和6年予定）

計画策定にあたり、犬山市天然記念物ヒトツバタゴ自生地保存活用計画策定委員会を立上げ、委員会の中で協議を行います。

年度	調査	計画策定
令和4年	既存資料調査 環境調査（土壤、水環境）	計画書骨子作成
令和5年	環境調査（水環境、植生、動物）	計画書内容検討
令和6年		計画書作成完了

犬山市史編さん事業について

1. 令和 3 年度事業内容

(1) 犬山市史編さん計画決定 (資料 8-1 参照)

- ・記述対象は平成年間。
- ・刊行スケジュールは進捗を考慮し、現段階では原案のとおり進める。
- ・写真や映像等の資料も活用する。

(2) 専門部会活動体制の確認

- ・4 分野別の班体制について確認。(歴史班、地理班、民俗班、観光・文化班)
- ・現代編の作成事例や基礎資料を確認し、班構成員や構成内容の詳細を検討。

(3) 史料編の構成・内容の検討

- ・2 部構成案

I 部…市民生活、行政、教育、産業・生業、周辺自治体との関わり、災害と防災等

II 部…犬山城と町並み、文化施設、祭り、史跡・文化財等

(4) 資料の収集・整理

- ・市の刊行物や計画等について各課に照会し、資料収集。(整理中)

※文化史料館本館 2 階研修室を作業スペースとし、資料を集積する。

編さん委員会		
回数	開催日	内容
第 1 回	令和 3 年 8 月 5 日	・委員委嘱、編さん計画案確認
第 2 回	令和 4 年 2 月 14 日	・進捗報告、編さん計画決定
専門部会		
回数	開催日	内容
第 1 回	令和 3 年 10 月 15 日	<ul style="list-style-type: none"> ・委員委嘱 ・編さん計画案確認 ・専門部会活動体制確認
第 2 回	令和 3 年 12 月 27 日	<ul style="list-style-type: none"> ・編さん計画案確認 ・専門部会の活動班確認 ・史料編の構成・内容検討
第 3 回	令和 4 年 2 月 22 日	<ul style="list-style-type: none"> ・活動班構成員の確認 ・史料編の構成・内容検討 ・来年度の調査とスケジュール確認

2. 令和4年度事業内容・計画

(1) 犬山市史編さん委員会（年2回）

- ・資料収集・調査等進捗状況の確認
- ・史料編構成内容の確認
- ・執筆要領の策定 等

(2) 専門部会（年4回+班会議）

- ・調査執筆委員の選定・委嘱（選定中）

※調査執筆委員は専門部会委員の指導の下、調査や執筆作業を行う。

原則、専門部会委員1人につき2人配置することを予定。

- ・資料収集・整理
- ・調査（文献・現地調査・ヒアリング等）
- ・執筆準備、執筆要領の策定 等

(3) その他

- ・編さん事業に関する広報活動 等

(参考) 委員名簿

(犬山市史編さん委員会) 任期：審議期間

No.	職名	氏名	委員区分	所属等
1	委員長	羽賀祥二	(1) 学識経験者	名古屋大学名誉教授
2	委員	岡本耕平	(1) 学識経験者	愛知大学文学部教授
3	委員	赤塚次郎	(2) 公共的団体	犬山市文化財保護審議会副会長
4	委員	奥村康祐	(2) 公共的団体	犬山市教育委員会教育長職務代理者
5	委員	小川征一	(2) 公共的団体	(一社) 犬山市観光協会会长
6	委員	高橋秀治	(2) 公共的団体	犬山商工会議所会頭
7	委員	中村真咲	(2) 公共的団体	名古屋経済大学犬山学研究センター長

(犬山市史編さん委員会専門部会) 任期：審議期間

No.	職名	氏名	所属等	活動班
1	部会長	羽賀祥二	名古屋大学名誉教授	歴史班
2	委員	河西秀哉	名古屋大学人文学研究科准教授	歴史班
3	委員	佐々木重洋	名古屋大学人文学研究科教授	民俗班
4	委員	岡本耕平	愛知大学文学部教授	地理班
5	委員	可児光生	美濃加茂市民ミュージアム館長	地理班
6	委員	筧真理子	公益財団法人犬山城白帝文庫学芸員	観光・文化班
7	委員	中野裕子	博物館明治村主任学芸員	観光・文化班

資料 8-1

犬山市史平成編 編さん計画

令和4年2月

1 目的

犬山市では、昭和54年（1979年）に刊行された『犬山市史資料目録』をはじめとし、平成10年（1998年）までに史料編6巻、通史編2巻、その他6巻の計14巻を刊行した。前回の市史編さん事業から20年以上が経過し、市の状況や人々の生活も大きく変化している。

また、市のあゆみを知ることのできる貴重な資料や人々の記憶を保存・記録し、市民の共有財産として将来に引き継いでいくことは喫緊の課題となっている。

そこで、既刊の『犬山市史』の続きの時代となる平成年間を中心として資料を収集・調査し、記録を後世に正しく伝えていくとともに、郷土の歴史や文化に対する市民の理解や愛着を深めることを目的として新たな市史編さんを取り組み、市制70周年を迎える令和6年度を目指して『犬山市史平成編』を刊行する。

2 基本方針

- (1) 犬山市の地域的、歴史的特性に配慮し、行政、経済、産業、文化など多岐にわたる分野に焦点をあて編さんする。
- (2) 市民に親しまれ、郷土への愛着を深めるとともに市民の文化活動に寄与できるよう、できるかぎり平易で簡潔な文章で記述するとともに、カラー写真や図版、映像資料等を多く取り入れる。
- (3) 既刊の『犬山市史』やこれまでの諸研究、歴史資料を参考にするとともに、各分野における最新成果を取り入れ市史を編さんする。
- (4) 資料収集・調査は市民の理解と協力の下で行うとともに、関係市町村や各団体と連携し、市内外にわたって幅広く行うものとする。
- (5) 編さんの過程で収集・調査した資料は適正に保存・管理し、広く市民等に公開して、その活用に努める。

3 刊行計画

- (1) 編さん期間は、令和3年度から令和6年度までを予定する。
- (2) 編さんスケジュールは別表のとおりとする。ただし、資料の収集状況や調査の進捗状況などを勘案し、必要に応じて見直しを行うこととする。

(別表) 犬山市史平成編 編さんスケジュール

年度	事業概要	編さん委員会	専門部会	事務局
2	・体制づくり	・編成	・編成	・編さん委員会、専門部会の編成 ・既存資料の整理、リスト化
3	・調査 執筆準備	・編さん計画策定	・資料収集・調査方法の確認 ・資料収集・調査 ・原稿執筆準備	・委員会、部会に関する事務 ・編さん事業に関する広報活動
4	・調査 執筆準備	・事業の進捗確認 ・執筆要領策定	・資料収集・調査 ・執筆要領策定 ・原稿執筆準備 ・史料編収録内容の調整	・委員会、部会に関する事務 ・編さん事業に関する広報活動
5	・調査執筆 ・史料編刊行	・事業の進捗確認 ・史料編校正 ・収集資料の活用策検討	・資料収集・調査 ・原稿執筆 ・史料編校正 ・通史編収録内容の調整	・委員会、部会に関する事務 ・編さん事業に関する広報活動
6 市制 70周年	・調査執筆 ・通史編刊行	・事業の進捗確認 ・通史編校正 ・収集資料の活用策検討	・原稿執筆 ・通史編校正	・委員会、部会に関する事務 ・編さん事業に関する広報活動

4 構成・内容（イメージ）

（1）仕様

名称	犬山市史平成編
巻数	史料編1巻、通史編1巻（全2冊）
判サイズ	A5判、縦書き
製本	上製本
刷色	グラビアページ：フルカラー 本文：フルカラー
ページ数	史料編：1,000ページ程度 通史編：800ページ程度
刊行部数	1,000部程度
その他	付録DVD等

- ・編さん過程においてより適した体裁がある場合には適宜変更するものとする。
- ・市史の頒布にあたっては、市民が購入しやすい価格設定、方法となるよう努める。

（2）内容

①通史編

章	タイトル	章の内容
序章	犬山市のすがた	総論、沿革等
1章	政治/社会	犬山市政、人口、都市整備、市民生活等
2章	産業/交通	農業、工業、商業、観光、交通・運輸・通信等
3章	自然/災害	自然環境、災害、防災・安全等
4章	協働/交流	市民活動、地域連携等
5章	教育/文化	学校教育、生涯学習、スポーツ、文化財等
終章	平成から令和へ	今後の展望

②史料編（重点的に収集、整理する予定の資料）

- ・各種統計資料
- ・広報バックナンバー
- ・犬山市に関する新聞記事
- ・行政資料
- ・古写真、絵葉書、パンフレット
- ・その他、平成年間を中心に犬山にゆかりの深い資料 等

5 編さん体制

- (1) 市史の編さんをするために次の組織を置く。
- ①編さん委員会
 - ②専門部会
- (2) 編さん委員会の構成は次のとおりとする。
- ①学識経験者（2名）
 - ②公共的団体の構成員
 - 犬山市教育委員会委員代表（1名）
 - 犬山市文化財保護審議会代表（1名）
 - 犬山市観光協会代表（1名）
 - 犬山市商工会議所代表（1名）
 - 名古屋経済大学代表（1名）
 - ③その他教育委員会が必要と認める者
- (3) 編さん委員会に市史の編さんに関して専門的な見地から調査及び検討するため、専門部会を置く。
専門部会の構成員は、編さん委員会の委員長が指名した者をもって充てる。
- (4) 編さん委員会の庶務は、教育部歴史まちづくり課において行う。

6 普及活動

市史の編さんについて市民からの協力と理解を得るための普及活動を行う。

- (1) 広報紙や市のホームページ等を活用して犬山市史編さん事業について情報発信を行うとともに、市民からの情報や資料提供を呼び掛ける。
- (2) 市史の刊行を記念して講演会を実施し、市民の興味関心を深める。

史跡名勝天然記念物の現状変更について (R3.8～R4.2)

1 令和3年8月～令和4年2月 現状変更件数

○ 名 勝：16件

・ 文化財名 木曽川

○ 史 跡： 5件

・ 文化財名 犬山城跡、東之宮古墳

○ 天然記念物： 1件

・ オオサンショウウオ

史跡・名勝・天然記念物 き損、現状変更状況一覧表(令和3年8月～令和4年2月末時点)

【現状変更】

名勝木曽川

No	許可日	内容	申請	備考
1	8/17	四阿撤去	軽微な現状変更	※
2	8/25	斜面の整地と舗装	軽微な現状変更	
3	9/14	法面及び水路の改修	軽微な現状変更	
4	9/21	光ケーブルの新設	軽微な現状変更	※
5	10/25	橋梁塗装	文化庁案件	
6	11/12	防犯カメラの設置	軽微な現状変更	※
7	11/25	変圧器・引込線の新設	軽微な現状変更	
8	11/25	仮設設備の簡易設置	軽微な現状変更	
9	12/17	河川護岸補強	文化庁案件	
10	12/21	橋梁補修	軽微な現状変更	
11	1/4	引込線の新設	軽微な現状変更	
12	1/6	ボーリング調査の実施	軽微な現状変更	
13	1/21	樹木伐採	文化庁案件	※
14	1/28	樹木伐採	同意案件	
15	1/28	電線の張替えと設備の移設	軽微な現状変更	
16	2/3	電線の張替えと設備の移設	軽微な現状変更	

※ 名勝木曽川指定地のうち史跡犬山城指定地のもの。

史跡犬山城跡

No	許可日	内容	申請	備考
1	8/17	四阿撤去	軽微な現状変更	※
2	9/21	光ケーブルの新設	軽微な現状変更	※
3	11/12	防犯カメラの設置	軽微な現状変更	※
4	1/21	樹木伐採	文化庁案件	※

※ 名勝木曽川指定地のうち史跡犬山城指定地のもの。

史跡東之宮古墳

No	許可日	内容	申請	備考
1	9/9	看板設置		

天然記念物オオサンショウウオ

No	許可日	内容	申請	備考
1	10/14	生息状況調査	軽微な現状変更	

1 寄贈

No	受理日	申込者	寄贈資料	数量	保管場所
1	R3. 11. 1	個人	紅白梅図茶碗（犬山焼）	1個	犬山市文化史料館
			「裸踊りの図」扇子	1本	
2	R4. 2. 10	犬山市立 犬山北小学校	民具（黒電話、電気アンカ、湯たんぽ、手桶、竿秤、懐炉）	一式	犬山市文化史料館
3	R4. 2. 22	個人	犬山焼	16件	犬山市文化史料館
			犬山焼図案	1冊	
			制作ノート	1冊	
			その他(新聞記事切り抜きや原稿など)	7枚	

2 寄託

No	受託日	申込者	寄託資料	数量	保管場所	受託期間
1	R4. 2. 1	個人	和時計	1台	犬山市文化史料館	R4. 4. 1～R7. 3. 31(更新)
2	R4. 2. 1	個人	金襷袢 (金襷袢・背負い)	一式	犬山市文化史料館	R4. 4. 1～R7. 3. 31(更新)
3	R4. 2. 1	宗教法人 徳授寺	黒漆酢漬草文蒔絵 鞍・鑑	一具	犬山市文化史料館	R4. 4. 1～R7. 3. 31(更新)
			花鳥図屏風	一双		
4	R4. 2. 1	個人	金襷袢 (金襷袢・中襷袢・背負い)	一式	犬山市文化史料館	R4. 4. 1～R7. 3. 31(更新)
5	R4. 2. 1	個人	犬山焼今井窯水瓶	1口	犬山市文化史料館	R4. 4. 1～R7. 3. 31(更新)
			鉄釉天目（美濃）	1口		
			朱塗茶棚	一台		

令和3年度第2回犬山市文化財保護審議会 会議資料の補足説明

【資料1 文化財保存活用地域計画の策定について】

資料1	<ul style="list-style-type: none">・犬山市文化財保存活用地域計画は、令和2年度から4年度にかけて計画作成を行い、令和5年度の文化庁による計画認定を目指して作業を進めています。 <p>○令和3年度事業成果 (p. 1)</p> <ul style="list-style-type: none">・令和2年度事業として市民アンケート、団体ヒアリングや現地調査などの各種調査、計画の構成及び記載項目の検討、文化財の保存・活用に関する課題の整理と方針の検討を行いました。計画の構成の詳細については資料1-1を、課題の整理と方針の検討については資料1-2をご覧ください。 <p>○令和4年度事業計画 (p. 2)</p> <ul style="list-style-type: none">・令和4年度も引き続き調査を予定していますが、補助金の採択状況により計画作成のみとする可能性があります。・計画の具体的な内容を検討し、計画書（案）として取りまとめるほか、市民向けの説明会も開催する予定です。・取りまとめた計画案に対して文化財保護審議会からご意見をいただき、パブリックコメントの手続きを経て令和4年度中に計画作成を完了し、令和5年度の文化庁の計画認定を目指します。
-----	---

【資料6 史跡東之宮古墳整備事業について】

資料6	<ol style="list-style-type: none">1. 東之宮古墳管理<ul style="list-style-type: none">・草刈り4回目は、草が生えていないことから、成田山側進入路に露頭しているチャートより剥がれ落ちたチャート片の清掃を予定2. 東之宮古墳普及啓発事業<ul style="list-style-type: none">・第2回土あげ祭りは予定どおり実施予定、3/11日時点の申込者は19人3. 東之宮古墳シンポジウム<ul style="list-style-type: none">・最大接続数はおよそ40人
-----	---

【資料7 天然記念物ヒトツバタゴ自生地について】

資料7	<ol style="list-style-type: none">1. ヒトツバタゴ自生地公有化<ul style="list-style-type: none">・令和4年2月に売買契約を締結し、令和4年3月に所有権移転を行い、公有化が完了しました。2. 天然記念物ヒトツバタゴ自生地保存活用計画策定<ul style="list-style-type: none">・公有化が完了したヒトツバタゴ自生地は、天然記念物に指定されてから100年近くの年月が経過している。現状のヒトツバタゴ自生地の調査を
-----	---

	行うと共に、今後の保存管理方針、活用手法を定める保存活用計画を令和4年から令和6年の3ヵ年で策定する。
--	---

【資料8 市史編さん事業について】

資料8	<ul style="list-style-type: none"> ・本事業は、犬山市のあゆみを知ることのできる資料の散逸を防ぐため、前回の市史編さん事業の続きの時代となる平成年間を中心に市史編さんを取り組むものです。 <p>1. 令和3年度事業内容 (p. 1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度は犬山市史編さん委員会及び専門部会を開催し、市史編さんの基本方針となる「犬山市史平成編編さん計画」(資料8-1)を決定しました。 ・調査や執筆作業を行う専門部会では、活動班を4班設置し、各班の構成員や史料編の構成内容等について検討しました。 ・現在、市の刊行物や計画等の資料を収集し、整理を進めています。 <p>2. 令和4年度事業内容・計画 (p. 2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度は専門部会の活動班による資料収集や調査を本格的に開始します。 ・史料編の刊行（令和5年度予定）に向けて、構成内容等の詳細検討や執筆の準備を進めていく予定です。
-----	--

【資料10 寄贈資料・寄託資料について】

資料10	<ul style="list-style-type: none"> ・前回の文化財保護審議会への報告以後に歴史まちづくり課所管施設で受け入れた寄贈資料は3件（文化史料館3件）、寄託資料は5件（文化史料館5件更新）です。 <p>※個人からの寄贈・寄託資料があるため、写真は次回の会議で回覧します。</p>
------	---